

いわむらからずおの「14ひきのねずみ」シリーズ。ねずみの一家に子どもは何ひき？



林比緒

心のバランスを保つために！

中島永至

わたしは、今から四十年ほど前、中学三年生の時、期間は一ヶ月と短かったのですが、今でいう不登校となりました。その原因は、父の仕事の関係で田舎の小規模学校から比較的都会の大きな学校へ転校したことでした。大きなストレスを感じ、自分の心のバランスを崩したようです。

しかし、このことが、その後の私の人格形成に大きな影響を与えてくれたと同時に、この仕事に導いてくれたきっかけになったと確信しています。必死になって、バランスを取り戻そうともがいていた自分がいました。その時の救いが本でした。自分の弱さに気づくとともに、他の人はどういう生き方をしているのだろうかと無性に気になりました。

当時の国語の先生が、そんな私を気づかせてくださり、夏目漱石の『こころ』、武者小路実篤の『友情』、太宰治の『走れメロス』など近代文学の代表作を読むようにすすめてくださいました。目からうろこでした。どの作品も、人間の心の弱さをあからさまに表現してありました。しかし、その弱さを上回る人間の崇高な姿も描かれていました。しかし、それは決して特別ではなく、誰でも持ちうることで「心のあり方」でした。

何かわからない不安から解きはなされた気持ちになり、再び登校できたのです。

読書タイム

市内の学級・園・施設の子どもと読書をのぞいてみました

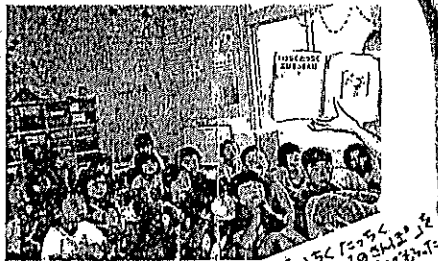
たから幼稚園

らしい時間です。

絵本の世界に入り込んだ子ども達は、主人公と一緒にハッと驚いたり、ホッと安心したり、フッフ…と笑ってしまったり、その世界を疑似体験し楽しんでいます。

生です。

中島先生は、この三月まで、美濃加茂市教育委員会の学校教育課にお勤めで、今の美濃加茂の子どもたちの成長を見守りつづけてこられました。現在は、恵那市立上矢作小学校の校長先生です。



夏休みは図書館へ行こう！

夏休みには、ぜひ市立図書館を利用しましょう。

読書や学習に使える机もあるし、静かで、涼しくて、ゆったりとすごせます。

子ども用の本も本棚からあふれるほどたくさんあります。夏休み中に、まとまった読書をするのもいいですね。(貸し出し一人5冊、2週間)

カウンターでは、調べたいことなどの相談にもものってもらえますよ！

☆子どもたち向けの図書館祭りもあるよ！

東図書館(7/28~7/30) Tel.26-3001

中央図書館(8/3~8/5) Tel.25-7316

7/28「平和を考える」朗読会 14時~

8/3 リサイクル工作 10時~17時

7/29 つくってあそぼう 13時半~

8/4「かちかち山」他人形劇 11時~

7/30「フレデリック」人形劇 14時~

お話ランド夏企画 13時半~

期間中「くるみの会」手作り絵本展

8/5 トレジャーハント(申し込み必要)

くわしい内容については、お問い合わせください。



我が家の読書

「ほっぴの時間
岩井 由比子
さあ、今夜も「ほっぴ
の時間」です。」

これは私が命名し勝
手に心の中で言っている

のですが、簡単に言えば家族の就寝前の
読書タイムのことです。母親は家事を終
え、子どもたちも宿題などを済ませ、一
日が無事に終わった「ほっぴのよう時間
間だと思っています。」

子どもが字を読めないうちは読み聞か
せをしていましたが、今では私が一番夢
中で読んでいたので、その隣りでそれぞ
れが好きな本を勝手に読んでいます。そ
して時折、

「その本そんなにおもしろいの?」
と聞いてくるので私は嬉々としてストー
リーを話し、どこがどんなに面白いかを
話して聞かせます。読み聞かせならぬ、
あらずし聞かせです。そのうち私の読書
傾向もわかってしまっことになります。

また、子どもたちが選ぶ本を見てもその
時々心のありようがよくわかるので
す。

子どもが選ぶ本といえば…。私が幼い頃
いつも身のまわりに本がありました。そ
れは父の本や、姉の本であったわけだ
が、今から思えば、私用の本もさりげな
く本棚に置かれてあったように思います。

『青春の門』を読み出した私に、両親があ
わてて『少年少女世界文学全集』を置いた
のかもしれない。しかし私はその横に
あった星新一の本ばかり読んでいまし
た。

このように子どもの求めるものは成長
とともにその都度変化するので、それに
対応するように本棚も自然にそこにあれ
ばいいと思います。子どもの手の届くとこ
ろに並べておきます。読んでも読まなく
てもいいのです。

「読み聞かせをしなくては」の子の将来
が「なんて思わない」ことです。読み聞かせ
本来の目的を見失ってしまうからです。
読み手が楽しみましょう。

最近では私おすすめ本には興味を示さ
ず、親はなれの時期かなと少し淋しい気
がします。ですから逆に子どもに
「ねえ、その面白いの?貸して。」
と言っています。

(岩井さんは、小5・中2のお母さんです)

みなさんのご家庭では、どんな読書時間
をおすごしですか?お気に入り本、読書
の様子などいろいろ教えてください。

また、「司書だより」へのご意見、ご感想な
どありましたら、ぜひお寄せください。

中央図書館 25-7316

lib-chnou@city.minokamo.lg.jp

学校図書館司書



『せなかをとんとん』
最上一平作
ポプラ社 1260円

しんぺいは、おとうさんのせなかをとん
とんすることが、おとうさんの心の扉を
たたいているようで、大好きです。



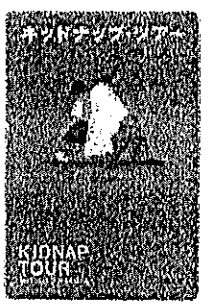
耳の不自由なお
とうさんと思っ
しんぺいの気持ち
が胸にきゅんとく
るお話です。



『おさるはおさる』
いとうひろし作
講談社 1155円

おさるの島にはほくとぞつく
りのおさるがいます。毎日一緒
に楽しく暮らしています。でも、ある日、
強情な「かに」に耳をはさまれてしまい…。
自分に自信がなくなったとき、そつと励
ましてくれる絵本話です。

この本 読んでみて



『キッドナップツアー』 角田光代作
新潮社 420円

五年生の女の子「ハル」が自分の父親に
誘拐されてしまうという、なんとも不思
議なお話。(両親の間の「取り引き」とはい
ったい何だったのか…。)

頼りなく、カッパ悪いお父さんと
過「すひと夏の間、「ハル」の
心は揺れ続けます。



『絵本・子どもの本
総解説第6版』

赤木かん子著 自由国民社 1995円
子どもにどんな本を与えたらいいか悩
んでいる人のために、赤木かん子さんが
子どもの本を紹介、解説。収録されてい
る本は463冊、そのすべてにわかりや
すい解説が付いています。

赤木さんは本の探偵さんで、子どもの
本の研究者。子どもの本を愛してやまな
い作者の解説は、読み手をわくわくさせ、
本の世界に導いてくれます。「おもしろ
い」ということは心が解放されることに
気づかせてくれる一冊です。

図書館クイズ
答えは、10ぴき。
末っ子のなまえは、
「とっくん」です。

